

* * * * * 事務局からのお願い&お知らせ * * * * *

九大学研都市メールマガジン会員募集中
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、
メールマガジン会員を随時募集しております。
ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報を
メールマガジンにて毎月お届けしています。
産学連携、研究施設、立地情報など九大学研都市に関する情報に
関心のある方には是非お知らせください。

【詳細】

http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf

新規の御登録はこちらから

<https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/users/add/>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、
OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信
させていただいております。
メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ等は
下記のURLをご参照ください。

<https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/users/>

または、info@opack.jpまでお問い合わせください。

* * * * *

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【7】糸島市子育て世代応援サイト“いとネット”がスタートしました！

糸島市役所企画部地域振興課

概要：

糸島市では、子育て世代の生活を応援し、市への定住を促進するため、糸島市・
福岡都市圏の子育て世代と、子育て世代応援の趣旨に賛同する協賛企業をつなぐ
会員制ポータルサイト“いとネット”を開設しました。

いとネットに会員登録し、協賛店で会員証を提示すると、会員向けの特別サービス
を受けることができます。

また、サイト開設を記念し、新規に会員登録した先着5,500名に、協賛店で
使用できる商品券3,000円分をプレゼントいたします。

さらに、いとネットでは、協賛企業からの会員向けのお得な情報に加え、市から
子育てや教育環境などに関する生活密着情報もお届けします。

この機会にぜひ、会員登録をお願いします。

会員対象者：福岡都市圏の18歳から40歳の方または18歳以下の子どもを
育てている方

登録方法：パソコン、スマートフォンよりサイトにアクセスし、入力画面に情報を
入力してください。

サイトURL <http://itonet.jp>

登録後は、会員証の画像データをダウンロードし、スマートフォン等の
端末へ保存して、協賛店でご利用ください。

登録料：無料

問い合わせ先：

糸島市 企画部 地域振興課 定住・学研都市係
TEL：092-332-2062

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【6】「糸島リサーチパーク 分譲」のご案内！
福岡県企業局

概要：

福岡県企業局では、糸島リサーチパークの分譲を行っています。

糸島リサーチパークは、西九州自動車道前原インターチェンジに隣接し、交通アクセスに優れ、また、糸島市内周辺地域は、九州大学を中心に、高水準の教育と技術力を身につけ、働く意欲に満ちた優秀な若い人材が豊富で、研究機関等の立地に最適な用地です。

リサーチパーク内には、既に、水素エネルギー製品研究試験センター、三次元半導体研究センター、社会システム実証センターの3施設が立地し、今後も研究機関等の立地が見込まれています。

福岡県への進出を御検討の企業におかれましては、ぜひ糸島リサーチパークへの立地を御検討いただきますようお願いいたします。

糸島リサーチパークの概要

所在地：糸島市東

分譲面積：56,680㎡

分譲単価：25,000円/㎡

詳細（リンク）：<http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/estates/90>

その他の工業団地（磯光工業団地：宮若市）

詳細（リンク）：<http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/estates/16>

* 販売区画については変わっていることがありますので、お問い合わせください。

問い合わせ先

福岡県企業局管理課企画開発係 担当者 津留(つる)・有吉(ありよし)

TEL：092-643-3786

FAX：092-643-3789

E-mail：kigyokyoku@pref.fukuoka.lg.jp

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

New!! 【5】「第191回KASTE Cセミナー」開催のご案内！
九州大学産学連携センター（KASTE C）

概要：

九州大学産学連携センター（K A S T E C）では、客員教授等を講師として招き、教育、研究、デザインなど多岐にわたる分野について、学内外の皆様に向けたセミナーを実施しております。

皆様の御参加をお待ちいたしております。

日時：平成28年5月25日（水）13：30～16：40

場所：九州大学産学連携センター 3階 研修室
（福岡県春日市春日公園6 - 1）
<http://www.astec.kyushu-u.ac.jp/j/access/index.html>
筑紫キャンパスマップ中、13番の建物です。

内容：
題目 「シリカ材料の特性に影響するシラノール基の分析」

講演者 九州大学産学連携センター 客員教授
山本 清氏
[旭硝子株式会社 技術本部 先端技術研究所
共通基盤技術グループリーダー]

世話人 九州大学産学連携センター
プロジェクト部門 先端機能材料領域 教授
藤野 茂

詳しい講演概要等は次のHPリンク先をご覧ください。
<http://www.astec.kyushu-u.ac.jp/j/seminar/191.html>

対象者：どなたでもご参加いただけます。

定員：60名（先着順）

参加費：無料

申込期限：平成28年5月18日（水）

申込方法：
参加ご希望の方は、下記のHPリンク先の「申込書」（Word）をご記入のうえ、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。

【申込書（リンク先）】
<http://www.astec.kyushu-u.ac.jp/j/seminar/191.html>

お問合せ・お申し込み先：
九州大学産学連携センター（K A S T E C）事務室
担当：小濱（おばま）
〒816-8580 福岡県春日市春日公園6 - 1
TEL：092-583-7883
FAX：092-573-8729
E-mail：jim@astec.kyushu-u.ac.jp

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

New!! 【4】シンポジウム
「国境ゲートウェイ・アジア 北部九州のツーリズムから考える」

開催のご案内！

九州大学アジア太平洋未来研究センター（CAFS）

概要：

九州大学アジア太平洋未来研究センター（CAFS：Center for Asia-Pacific Future Studies）は、シンポジウム「国境ゲートウェイ・アジア 北部九州のツーリズムから考える」を開催いたします。

ポーターツーリズム（国境観光）がいま日本中で注目を浴びています。

今回は、北部九州のポーターを結ぶ広域観光、交流と地域振興を考えます。

これまで様々なかたちでツーリズムや地域振興に関わってきた研究者、実務者が一同に会して議論を展開します。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成28年5月11日（水）13：40～17：00

場所：アクロス福岡 会議室607
（福岡市中央区天神1-1-1）
<http://www.acros.or.jp/access/>

内容：

13：40 開場

14：10 開会の挨拶・趣旨説明
岩下 明裕（北海道大学／九州大学）

14：30 基調報告
榎本 通也（国土交通省九州運輸局 観光部長）

15：10 パネルディスカッション
司会
岩下 明裕
パネリスト
藤木 道雄（福岡観光コンベンションビューロー専務理事）
内山 歩（対馬市総合政策部政策企画課長）
久保 実（五島市市長公室長）
島田 龍（九州経済調査協会）

17：00 閉場

詳細はこちらをご覧ください。
<http://cafs.kyushu-u.ac.jp/ja/activity-ja/792.html>

対象者：シンポジウム内容にご興味のある方

定員：60名

参加費：無料

申込期限：平成28年5月10日（火）16時まで

申込方法：件名に「シンポジウム申し込み」と明記し、以下の（1）～（3）をご記入の上、メールまたはFAXにてご送信ください。

（1）お名前

（2）メールアドレスまたはお電話番号

(3) ご所属

E-Mail : cafs@jimu.kyushu-u.ac.jp
F A X : 0 9 2 - 6 4 2 - 2 1 4 4

お問合せ先：九州大学 アジア太平洋未来研究センター（ C A F S ）事務局
合田（ごうだ）

E-Mail : cafs@jimu.kyushu-u.ac.jp
U R L : <http://cafs.kyushu-u.ac.jp/>

・シンポジウム「国境ゲートウェイ・アジア 北部九州のツーリズムから考える」：
https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail_10455_file.pdf

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【 3 】 「海外武者修行報告会」開催のご案内！
九州大学大学院分子システムデバイスコース

概要：

九州大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「分子システムデバイスコース」からのお知らせです。

本コースでは博士課程5年間の一貫教育により、卓越した研究能力とマネジメント・リーダーシップ能力を備えた、世界で活躍できる研究開発リーダーを育成しています。

この度、数ヶ月間の海外研修「海外武者修行」から戻ってきたコース生たちによる成果報告会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成28年5月11日（水）13：00～14：30

場所：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/access/ito/>
伊都キャンパスマップ中、43番の建物です。

内容：コース生による「海外武者修行」の成果の発表と質疑応答など

詳細は分子システムデバイスコースWEBサイトをご覧ください。
<http://molecular-device.kyushu-u.ac.jp/?p=10532>

対象者：一般の方、学生、企業の方、大学・研究機関の方
海外留学、最先端の研究開発、博士人材の育成に関心のある方など

参加費：無料

申込方法：事前にWEBサイトで登録をお願いします。
<http://molecular-device.kyushu-u.ac.jp/form/view/index.php?id=236>

お問合せ先：
九州大学 分子システムデバイス国際リーダー教育センター 支援室
e-mail: office@molecular-device.kyushu-u.ac.jp
TEL: 092-802-2911

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【2】第100回分析基礎セミナー「実用機器分析【1】走査電子顕微鏡」
開催のご案内！
九州大学中央分析センター

概要：

九州大学中央分析センターでは平成19年より毎年定期的(年10回程度)に分析基礎セミナーを開催しております。

これは機器分析の原理・基礎知識を習得してより効果的に分析機器を使用していただくことを目的としています。

今年度は「実用」を中心に、教科書では学べない内容も提供して参ります。

今回は「走査電子顕微鏡(Scanning Electron Microscope: SEM)」です。

SEMは中央分析センターで最も利用者ニーズが高い装置ですので、今回の内容はすぐにでも活用できる内容になっております。

皆様の御参加をお待ちしております。

日時：平成28年4月27日(水) 13:00～17:00

場所：九州大学伊都キャンパス 工学部大講義室(総合学習プラザ2階)
(福岡市西区元岡744)

<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/ito/ito.html>

九大伊都キャンパスマップ中、32番の建物になります。

内容：

<13:00-14:00> 「原理から学ぶ走査電子顕微鏡」

最近の装置は原理を知らなくても簡単にSEM画像が得られますが、ここでは敢えてブラックボックス化することなく、SEMの原理、基礎から装置構成など技術的な内容を解説します。

<14:00-14:50> 「SEM観察のためのサンプリングと前処理技術」

試料に応じた前処理の方法と、金属コーティングの種類、イオン液体の利用、イオンミリング法等多様な前処理技術について解説します。

<15:00-15:40> 「SEMの活用 組成情報を得る」

SEMは観察するだけでなく、特性X線を利用して組成情報を得ることもできます。ここではEDXの基礎と応用技術について解説します。

<15:40-16:10> 「SEMの活用 目的に応じたSEMの選択」

中央分析センターに設置されている日立ハイテクノロジー製のSEM(SU8000、SU6600、SU3500及び新設大気圧SEM)の性能・特徴について解説します。

<16:10-17:00> 「SEMの活用 事例で学ぶ応用技術と観察テクニック」

過去にユーザーから相談があった観察事例を中心に、チャージングやコンタミネーション回避に対するアプローチをQ&A形式で解説します。

対象者：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

申込方法・申込期限：
当日までにメールまたはファックスで
ご氏名・ご所属を明記の上お申込みください。

お問合せ先：
九州大学 中央分析センター伊都分室 渡辺
TEL：092-802-2857 FAX：092-802-2858
E-mail：watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【1】「第9回有機光エレクトロニクス産業化研究会」開催のご案内！
（公財）福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）
有機光エレクトロニクス産業化研究会

概要：

この研究会は、本分野の研究開発や実用化を促進するため、最新技術情報の発信や意見交換、人脈形成を図る場として開催しています。

自由な雰囲気できれいに情報交換できる場です。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成28年4月15日（金）
<講演会> 13：30～18：00
<交流会> 18：00～19：30

場所：<講演会>九州大学伊都キャンパス 椎木講堂 第3講義室
<交流会> I T R I ・ I T O
<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/access/ito/>
伊都キャンパスマップ中、61番の建物です。

内容：「分析・解析技術」をテーマとし、最前線でご活躍されている研究者の方、企業のご担当者をお招きし、ご講演頂きます。

詳細はこちらをご覧ください。
<http://www.i3-opera.ist.or.jp/events/16>

対象者：一般の方、企業の方、学生、学術・研究機関関係者

定員：100名

参加費：<講演会>無料、<交流会>2,000円

申込期限：平成28年4月11日（月）

申込方法：HP、FAX、メールの3通りがございます。

1) HPからのお申し込み
「有機光エレクトロニクス産業化研究会 参加申し込みフォーム」からお申込み
ください。
https://www.i3-opera.ist.or.jp/industry_registries/new

2) FAXでのお申し込み：
文末に添付のPDF「第9回有機光エレクトロニクス産業化研究会のご案内」
2枚目が申込用紙となっています。

必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてご送信ください。

3) メールでのお申し込み：下記 ~ をお知らせください。
会社・団体名、郵便番号・所在地、電話番号・FAX番号、
所属・職名、氏名(ふりがな)、メールアドレス、
講演会(出席・欠席)、交流会(出席・欠席)

メール送信先：i3-opera@ist.or.jp
FAX送信先：092-805-1851

お問合せ先：
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団内
有機光エレクトロニクス産業化研究会 事務局
担当：篠原、地福
TEL：092-805-1850 / FAX：092-805-1851
E-mail：i3-opera@ist.or.jp

・第9回有機光エレクトロニクス産業化研究会のご案内：
https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail_10452_file.pdf

* * * * * ○**INDEX**○ * * * * *

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【1】「第9回有機光エレクトロニクス産業化研究会」開催のご案内！
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)
有機光エレクトロニクス産業化研究会
〔平成28年4月15日(金)〕
講演会 13:30~18:00 / 交流会 18:00~19:30〕

【2】第100回分析基礎セミナー「実用機器分析【1】走査電子顕微鏡」
開催のご案内！
九州大学中央分析センター
〔平成28年4月27日(水) 13:00~17:00〕

【3】「海外武者修行報告会」開催のご案内！
九州大学大学院分子システムデバイスコース
〔平成28年5月11日(水) 13:00~14:30〕

New!! 【4】シンポジウム
「国境ゲートウェイ・アジア北部九州のツーリズムから考える」
開催のご案内！
九州大学アジア太平洋未来研究センター(CAFS)
〔平成28年5月11日(水) 13:40~17:00〕

New!! 【5】「第191回KASTECセミナー」開催のご案内！
九州大学産学連携センター(KASTEC)
〔平成28年5月25日(水) 13:30~16:40〕

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【6】「糸島リサーチパーク分譲」のご案内！
福岡県企業局

【7】糸島市子育て世代応援サイト“いとネット”がスタートしました！
糸島市役所企画部地域振興課

* * * *

○**** 本文 ****○

* * * *

opack_mailmagazine_extra

* * * *

【号外】九大学研都市メールマガジン 2016/04/14 発行

* * * *

opack_mailmagazine_extra

みなさん、こんにちは！
九大学研都市メールマガジン事務局です。
メルマガ会員の皆様にお知らせしたい情報がございますので、
5月号に先駆け、号外を配信いたします。